

障がいについて

知的 …… IQ70 以下

精神 …… うつ、総合失調症、発達障害

肢体不自由 …… 視覚、聴覚、身体、内部（重度糖尿病など）



軽度…言語の発達がゆっくりで、18歳以上でも小学生レベルの学力にとどまることが多い。

中度…言語発達や運動能力の遅れがある。 身辺自立は部分的にはできるが、全てをこなすことは困難。

重度…言語・運動機能の発達が遅く、学習面ではひらがなの読み書き程度に留まる。情緒の発達が未熟で、身の回りのことを一人で行うことは難しいので、衣食住には保護や介助が必要になる場合もある。

それぞれの障害の特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

注意欠陥多動性障害

AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害

LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

※このほか、トゥレット症候群や吃音（症）なども発達障害に含まれます。

ADHD (注意欠陥/多動性) …忘れ物多い、王様気質、20歳には落ち着くが、脳に多動性が残っているため逆算できない、片づけられない、※フラッシュバック

ASD (自閉症スペクトラム) …視線が合わない、すぐ動けない、聴覚過敏、触覚過敏、オウム返し、独り言、※フラッシュバック

※記憶のつながりが違う。ex)ついこの前 = 10年前

- 五感を司る右脳が発達しすぎている。

ダウン症…卵子の遺伝子異常 45歳以上の夫婦に $\frac{1}{5}$ の確率
心臓病の合併症のある子が多い。身体が柔らかい。頑固、自己中心

プラダウィリー…欲求を抑えきれない。

LD (学習障害) …タイプは3つ。読字障害・書字障害・算数障害

脳の働きの偏りが原因で、脳の中の「読み」「書く」「計算」に関わる領域の働きに偏りがあるために起こる。

- ・ディスレクシア 読字障害：読むことに困難がある
- ・ディスグラフィア 書字障害：書くことに困難がある
- ・ディスカリキュリア 算数障害：計算することに困難がある

読み書き障害の背景には、表記された文字を対応する音に置き換える脳の働きがうまくいかないことがあるため、文字を読めなかったり間違えたりする。しかし理解力はあるので、試験問題を読んでもらって耳で聞けば答えられるというケースもある。また、言葉は読めるが計算ができない。または言葉は読めないが、計算はできるなど、特定のことができないことも特徴としてある。

学習障害としてよくあるのは以上だが、これらのほかにも、**聞く・話す・推論**するといったことが苦手なタイプもある。

聞くことに困難がある場合は、複数の指示、集団の中での指示が理解しにくい傾向にある。これは、ワーキングメモリーの発達の遅れと関連しているとされている。

話すことに困難がある場合は、事柄や順序を整理して話すことが苦手で、「いつ」「どこで」「だれが」などを抜かして話すことがある。会話が一方的で、話題がとびやすい面が見られる。

推論することに困難がある場合は、因果関係の理解や、相手の立場に立つことが苦手。目的に沿って計画を立てることができない傾向がある。